

令和5年度 思春期サポートプレイス講演会



第1回 令和5年6月17日（土） 午後2時から午後4時30分

「無気力に見える子供に、どう接するか ～コロナ禍が子供に与えた影響～」

講師：東京学芸大学名誉教授 臨床心理士 小林 正幸 氏

文部科学省の調査によると不登校児童生徒数はここ数年増加しています。その背景として、コロナ禍での学校生活は様々な制限があり、登校する意欲が湧きにくかったことが指摘されています。不登校の子供や保護者のカウンセリング経験が多く、長年不登校支援に関わってきた臨床心理士から、いま子供がどのような状態にありどのような支援を必要としているのか、適切な働きかけや関わりをもつための保護者の心構え等について、お話します。

子供の学校復帰や社会参加に向けて、不登校やひきこもりの状態にある子供の保護者の方を対象に、心理や医療、福祉の専門家による講演会を行います。

【各回 定員80名】

第2回 令和5年10月21日（土） 午後2時から午後4時30分

「無気力・不安の背景 ～思春期について知る～」

講師：愛育相談所所長 児童精神科医 齊藤 万比古 氏

思春期の子供を、どのように理解したらいいのでしょうか。不登校の要因は「無気力・不安」が最も多いという調査結果がありますが、不登校の子供が「無気力・不安」と見えてしまう背景には、どのような心が隠れているのでしょうか。登校しぶりや不登校の背景に、発達上の特性がある場合もあります。思春期の心理や子供たちが抱える悩みの理解について、豊富な診療経験に基づき、児童精神科医がお話します。

参加申し込みは、
各回開催日の1か月前から
受け付けます。

03-3360-4192

までお電話ください。

（平日：午前9時から午後5時まで
（祝日・年末年始を除く）

第3回 令和6年1月20日（土） 午後2時から午後4時30分

「社会的自立に向けて ～子供を真ん中に、一緒に歩む～」

講師：白梅学園大学名誉教授 精神保健福祉士 長谷川 俊雄 氏

子供が不登校になると、学業の遅れや進路選択上の不利益等、社会的自立へのリスクが気になるかと思います。不登校の時期が、休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味をもつ時期となり、子供自身が、自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立する方向を目指すようになるために、家族はどのように関わるべきか、精神保健福祉士として生きづらさを抱える多くの若者に寄り添ってきた経験から、お話します。



令和5年度

東京都教育相談センター

第1回 思春期サポートプレイス講演会

無気力に見える子供に、どう接するか

～コロナ禍が子供に与えた影響～

講師：東京学芸大学名誉教授 臨床心理士 小林 正幸 氏



不登校やひきこもりの状態にある子供の学校復帰や社会参加に向けて、

保護者の方等を対象に、心理や医療の専門家による講演会を行います

日時 **令和5年6月17日（土）** 午後2時から午後4時30分

会場 東京都子供家庭総合センター 6階

参加費 無料

内容 文部科学省の調査によると不登校児童生徒数はここ数年増加しています。その背景として、コロナ禍での学校生活は様々な制限があり、登校する意欲が湧きにくかったことが指摘されています。

不登校の子供や保護者のカウンセリング経験が多く、長年不登校支援に関わってきた臨床心理士から、いま子供がどのような状態にありどのような支援を必要としているのか、適切な働きかけや関わりをもつための保護者の心構え等について、お話しします。

定員 80名

申込期間 5月17日（水）から6月9日（金）（定員に達し次第、締め切ります）

参加申し込みとお問い合わせは、

03-3360-4192 までお電話ください。

平日：午前9時から午後5時まで
（祝日・年末年始を除く）

■ 東京都教育相談センターまでの経路図



～ 当日は、公共交通機関の御利用をお願いします ～



東京都教育相談センター

〒169-0074 東京都新宿区北新宿四丁目6番1号
東京都子供家庭総合センター4階

